

シンポジウム

日本宗教・思想文化の 接合域と多面性を考える

「他者」とどのように向き合ったのか

2024.3.23 [土] 24 [日]

オンライン開催 (zoom)

日本においては、さまざまな宗教や思想が「外」からやってきている。古代においては仏教や儒教が、その後にはキリスト教も伝来している。また、日本は「外」からやって来た宗教や思想を受容するだけでなく、特に近代において「外」に向けて発信した歴史も有している。本企画では、特に日本と世界各地の文化間の接合の視点から、近世および近代における仏教、キリスト教、神道、儒教を介した交渉過程に着目し、シンポジウムとワークショップを実施し、日本と西洋、東アジアとの間において、日本の文化が異なる文化に対してどのように接合して来たのか議論を深めることを目指す。



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国際日本文化研究センター

International Research Center for Japanese Studies

シンポジウム

日本宗教・思想文化の接合域と多面性を考える ——「他者」とどのように向き合ったのか——

Program

総合司会 西田彰一（日文研）、藤本憲正（日越大学）

1日目 2024.3.23 [土] 13:00～17:40

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～13:20 趣旨説明 西田彰一（日文研）

第一部 シンポジウム

13:20～14:20

小俣ラポー日登美（京都大学）

「中近世ヨーロッパ殉教伝の
テキスト・マイニングから見る日本
——イメージと言説の再生産が紡ぐ歴史」

14:30～15:30

守屋友江（南山大学）

「近代仏教史における
「日本」を相対化する視点」

15:45～16:00 コメント① フレデリック・クレインス（日文研）

16:00～16:15 コメント② ダニエル・シュライ（日文研）

16:15～16:30 コメント③ 末木文美士（東京大学・日文研）

16:40～17:40 質疑応答

2日目 2024.3.24 [日] 9:40～14:25

第二部 若手研究者による ワークショップ

9:40～10:00

殷曉星（広島大学）

「日中琉における教化思想の交差
——琉球王国の明清聖諭受容について」

10:00～10:20

齋藤公太（北九州市立大学）

「渡瀬常吉の「日本神学」」

10:20～10:40

洪伊杓（山梨英和大学）

「海老名弾正の帝国神道的キリスト教」

10:40～11:00

坂知尋（日文研）

「弥彦神社神宮寺の妙多羅天女像」

11:15～11:30 コメント① 星野靖二（國學院大学）

11:30～11:45 コメント② 伊東貴之（日文研）

11:45～12:00 コメント③ 芦名定道（関西学院大学）

12:00～12:45 昼休憩

12:45～14:15 質疑応答及び総合討論

14:15～14:25 閉会挨拶

予約フォーム 3月20日(水)17:00までに以下のURLより、事前の登録をお願いいたします。

3月23日のシンポジウム

<https://zoom.us/meeting/register/tJYld-2gqDorGdYSh3TPP1U5KUK6ZXMftVUA>



3月24日のワークショップ

https://zoom.us/meeting/register/tJUtdu2rrzgsH9A5irEIN1X0_EwHDcr8uvZN

お問合せ先 国際日本文化研究センター 研究協力課国際研究推進係

E-mail: suishin@nichibun.ac.jp